

第61期 株主通信

平成20年4月1日～平成21年3月31日

sawai

TODAY



patients
first

沢井製薬株式会社 ジェネリック医薬品のトップブランド

証券コード 4555



企業理念

なによりも患者さんのために

patients first

- 1 「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」
それが **sawai** の使命です。
- 2 「創造性を追求し、
革新と協調により社会と共に成長する」
それが **sawai** の挑戦です。
- 3 「お役に立ちたいという心を持ち、
なくてはならない存在になる」
それが **sawai** の願いです。

CONTENTS

ごあいさつと業績のご報告/ 第61期 連結財務ハイライト	1
中期経営計画09-11「M1 TRUST」策定	3
TOP INTERVIEW	5
TOPICS	6
連結財務諸表(要約)	7
会社概要	9
株式情報	10

ごあいさつと業績のご報告



代表取締役会長 澤井 弘行
代表取締役社長 澤井 光郎

ジェネリック医薬品市場の拡大への取り組みを進め、増収増益を達成することができました。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。第61期の株主通信をお届けするにあたり、日頃からのご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

ジェネリック医薬品市場の拡大と競争激化が進んでいます。

当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日)の医療用医薬品業界では、平成20年4月にジェネリック医薬品(GE)の使用促進策「処方せん様式の再変更」が実施されるなど、保険薬局を中心としたGEの市場が拡大しました。今後はDPC*導入病院における薬剤選択においても低コストのGEの採用が進むと期待されます。しかしその一方で、景気後退による患者さんの受診抑制や先発医薬品メーカーおよび競合他社間における競争がますます激しさを増しております。

*DPC:急性期入院医療の定額制診療報酬制度。

売上高17.7%、経常利益31.2%の増収増益となりました。

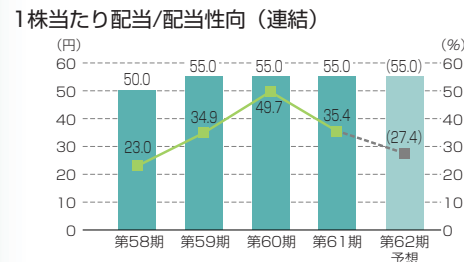
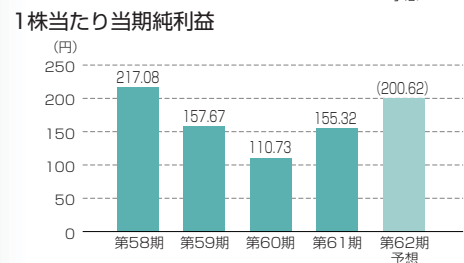
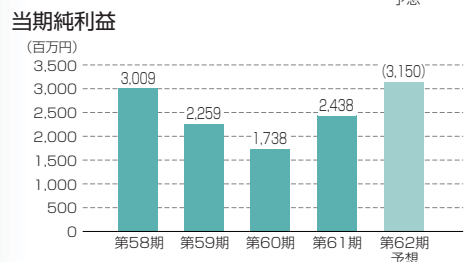
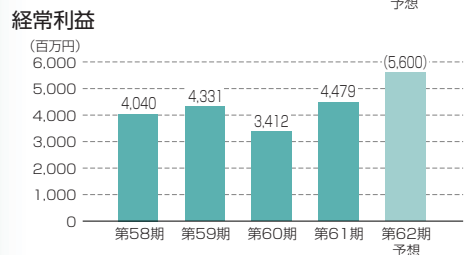
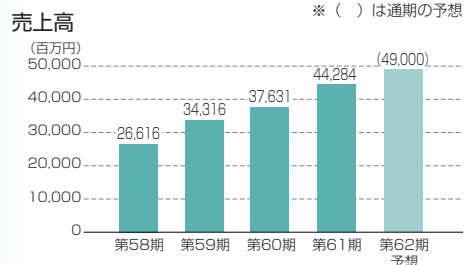
このような環境下で、当社グループは「中期経営計画07-09」に沿って、DPC導入病院・保険薬局への営業強化、需要拡大を展望した生産体制の増強、さらなる信頼性向上のための品質管理・情報提供・安定供給に注力しつつ、トップブランド構築に取り組んでまいりました。

この結果、売上高が44,284百万円(前期比17.7%増)、利益面では「棚卸資産の評価に関する会計基準」の影響はあるものの営業利益は4,667百万円(前期比15.3%増)、経常利益4,479百万円(前期比31.2%増)、当期純利益2,438百万円(前期比40.3%増)の大幅な増加を達成することができました。

当社グループでは新中期経営計画09-11「M1 TRUST」(詳細は本誌P3-5)に基づいてさらなる業績の向上に取り組んでいます。今後とも「なによりも患者さんのために」の理念のもと、大きな飛躍をめざして邁進してまいりますので、一層のご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

第61期 連結財務ハイライト

※()は通期の予想



2011年度売上高740億円達成

事業活動およびインターナル・ブランディング(M1)活動を通じて

もっとも信頼される、存在感のあるGE企業へ

●中期経営計画09-11コンセプト

「信頼」を築く

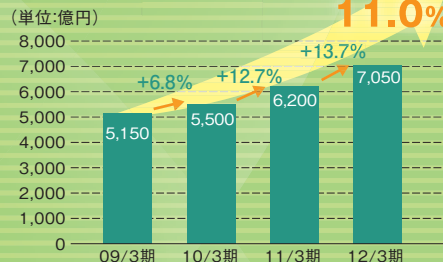
中期経営計画09-11

M1 TRUST

みんなで1番

- Top Brand ゆるぎないトップブランド
- Reliability 信頼性
- Unity 取引先を含めた総合力
- Stable Supply 安定供給
- Top Share 圧倒的シェア No.1

●GE市場規模推移
(当社予測)



1,900億円拡大
年平均成長率
11.0%

背景 1 中期経営計画 07-09 の成果と課題

成果

積極的な先行投資により、認知度・信頼度が向上
サワイブランドの基盤構築

課題

- 「選ばれる」ブランドの確立
- 売上高のさらなる成長
- 収益性の向上

背景 2 市場環境変化 (予測)

1) 市場環境

- ①政府のGE使用促進策の進展
- ②GE医薬品の認知度・信頼性の向上
- ③患者さん、保険者(支払側)の節約志向の高まり

2009-2011年度に1,900億円拡大

2) 競争環境

競争は一層激化

強い経営体質が、勝ち残りの条件

M1 TRUST

みんなで1番

「信頼」を築く

年平均成長率

18.7%

● 2011年度目標

- ▶ 売上高 740億円
- ▶ 営業利益 115億円
- ▶ 当期純利益 60億円

● 2008年度実績

- ▶ 売上高 443億円
- ▶ 営業利益 47億円
- ▶ 当期純利益 24億円

● 基本方針

1. 市場成長率を大きく上回る売上高の伸長
2. 徹底したコストコントロールと効果的な戦略投資による経営体質のさらなる強化
3. ゆるぎない「サワイ」ブランドの構築

① 市場成長率を大きく上回る売上高の伸長

年平均成長率18.7%とGE市場全体の成長の11.0%を大きく上回る売上伸長を実現します。

1. 豊富な新製品のラインアップ
2. DPC病院の攻略
3. 注力品目・重点品目の拡販

② 経営体質のさらなる強化

徹底したコストコントロール、効果的な戦略投資を実行します。

1. 生産効率の向上(生産能力60億錠体制確立)
2. 製販連携の強化(在庫適正化・廃棄ロス削減)
3. 研究開発テーマの選択と集中
4. コストダウンの徹底

③ ゆるぎない「サワイ」ブランドの構築

高認知度から、「選ばれる」ブランドへ飛躍します。

1. 「選ばれる」ブランドへの進化
2. 卸との連携強化:安定供給(60億錠体制)による安心感
3. インターナル・ブランディング(M1)活動の継続・発展

「もっとも信頼される、存在感のあるGE企業」をめざします。



代表取締役社長 澤井光郎

もっとも信頼される、存在感のあるGE企業へ、M1 TRUSTをスタートさせました。

Q. 『M1 TRUST』という名称の意味をお聞かせください。

A. 『M1 TRUST』は、「もっとも信頼される、存在感のあるGE企業」を目標に、「みんなで1番(M1)」をめざし、「信頼(TRUST)を築く」という意味で名づけました。

当社では人を育て、経営体質改善・強化をはかるインターナル・ブランディング活動「M1プロジェクト」を展開してきましたが、今回の『M1 TRUST』はこのプロジェクトをさらに発展させたもの。TRUSTは、**T**op Brand(ゆるぎないトップブランド)、**R**eliability(信頼性)、**U**nity(取引先を含めた総合力)、**S**table Supply(安定供給)、**T**op Share(圧倒的シェアNo.1)を意味します。この**TRUST**を現実のものにしていくことで、もっとも信頼される、存在感のあるGE企業をめざします。

市場の伸びを上回る成長で、トップブランドとしての存在感を高めます。

Q. 基本方針の一番目に売上高の伸長を掲げられていますね。

A. GEのトップブランドとして選ばれ続けるためには、規模も重要です。市場は本中計期間中に年平均11%の伸びを予測していますが、当社ではそれを大きく上回る18.7%の成長を目標に掲げました。豊富な新製品をラインアップするとともに、DPC導入病院の攻略、注力品目・重点品目の拡販により達成する方針です。また、売上高だけでなく、徹底したコストコントロール、効果的な戦略投資により収益性も高め、2011年度の売上高740億円、営業利益115億円、当期純利益60億円という目標を掲げ、「みんなで1番」を合言葉に果敢に挑戦していきます。

高い認知に止まらず、「選ばれるブランド」の確立を目指します

Q. 「選ばれるブランド」の姿とは？

A. ブランドというと一般的に「知名度」と考えがちですが、本当は市場や取引先からの信頼であり、同時にお客さまの心や市場での存在感です。

たとえば、品質についての信頼を築く。きちんと安定供給を守る。しっかりした情報提供を行う。こうした活動のひとつひとつの積み重ねによって、ステークホルダーの心の中にブランドが形成され、患者さん・医療機関・保険者などから実際に「選ばれるブランド」になることができるのだと考えています。こうした考えの上に立っているのが『M1 TRUST』なのです。「なによりも患者さんのために」という想いを全社員で共有し、ゆるぎない「**sawai**」ブランドの構築を図りたいと考えています。

新製品

5月15日、20成分34品目の新製品を発売しました。

当社では患者さんが飲みやすい医薬品の開発に取り組んでいます。中でも、OD錠と呼ばれる口腔内崩壊錠（水なしでも服用しやすい錠剤）では、味はもちろんのこと胃や腸の狙ったところで溶け体内に吸収されるなどの工夫がなされております。また、調剤や服用時には手に取りやすい「取り扱いやすさ」といったことが重要になります。今回の新製品では独自工夫をしたOD錠7品目を発売しました。



テレビCM

「ひとつ上の『品質』を 考え続けたい」… 新テレビCMがスタート。

当社ではジェネリック医薬品のことをより多くの方に正しく知っていただくため、各種メディアを通じて啓発活動に取り組んでいます。この4月からは新たにテレビCM「製剤工夫」編がスタートしました。「製剤工夫」編では、薬を飲む祖母、それをじっと見つめる孫が登場。ときには飲みにくいこともある医薬品に対して、ひとつ上の『品質』を追求し、患者さん、医療関係者のニーズに合った製剤の開発に取り組む当社の姿勢を、当社研究員の真摯な眼差しが語っています。



■主要な新製品

前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤	ハルスローOD錠0.1mg/0.2mg
胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎治療剤	ランプランOD錠15mg/30mg
胃炎・胃潰瘍治療剤	レバミピド錠100mg「サワイ」
広範囲経口抗菌製剤	レボフロキサシン錠100mg/細粒10%「サワイ」
プロスタグランジンE ₁ 製剤	アルプロスタジル注5μg/10μg「サワイ」
	アルプロスタジル注5μg/10μgシリンジ「サワイ」
統合失調症治療剤	リスベリドンOD錠1mg/2mg「サワイ」
睡眠導入剤	レンデムD錠0.25mg
経口用セフェム系抗生物質製剤	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg/100mg「サワイ」
抗悪性腫瘍剤	ヒカルタミド錠80mg「サワイ」
抗悪性腫瘍剤	イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg/100mg「サワイ」

生産体制増強

三田工場の第3期増設工事が完成。 生産能力が3割アップしました。

兵庫県三田市の三田工場第3期工事が2009年3月に完成しました（総工費36億円）。三田工場は固形製剤（錠剤）専用工場で、これまでは年間18億錠の生産能力でしたが、この増設により年間24億錠の生産が可能になりました。今後さらなるジェネリック医薬品の需要拡大に応じて、機械設備の補充による年間生産能力36億錠体制への増強もみすえています。



連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

単位：千円

科目	当連結会計年度 平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	前連結会計年度 平成19年4月1日～ 平成20年3月31日
① 売上高	44,284,395	37,631,498
売上原価	25,156,162	20,130,372
② 売上総利益	19,128,233	17,501,125
③ 販売費及び一般管理費	14,460,567	13,452,687
営業利益	4,667,665	4,048,438
営業外収益	131,813	98,854
営業外費用	320,167	734,386
経常利益	4,479,312	3,412,906
特別利益	969	—
特別損失	159,950	284,189
税金等調整前当期純利益	4,320,331	3,128,716
法人税、住民税及び事業税	2,211,401	1,380,209
法人税等調整額	△610,995	△164,098
少数株主利益	281,082	173,882
当期純利益	2,438,841	1,738,722

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

科目	当連結会計年度 平成20年4月1日～平成21年3月31日	前連結会計年度 平成19年4月1日～平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,168,756	9,549,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,036,917	△6,562,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,027,470	△4,957,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,159,309	△1,971,235
現金及び現金同等物の期首残高	5,388,857	7,360,093
現金及び現金同等物の期末残高	6,548,167	5,388,857

Point ① 売上高

2008年4月の各種ジェネリック医薬品使用促進策の実施により、保険薬局向けの販売が増加し、前期比17.7%増の44,284百万円となりました。

Point ② 売上総利益

会計基準変更によるたな卸資産の評価損や製商品の廃棄損を売上原価に計上した結果、売上原価が従来の方法によった場合に比べて計1,546百万円増加しておりますが、売上高の増加に伴い、売上総利益は前期比約1,627百万円増加となりました。

Point ③ 販売費及び一般管理費

- 人件費…4,873百万円(前期 4,518百万円)
医療機関への情報提供活動を担うMRや営業支援部門のスタッフの増員
- 試験研究費…3,408百万円(前期 3,221百万円)
今後特許切れを迎える大型製品のジェネリック医薬品開発について、高付加価値化と確実な上市を図るため、開発開始を一部前倒して実施
- 広告宣伝費…857百万円(前期 689百万円)
4月の促進策実施に合わせ、テレビCM、新聞広告を実施

連結貸借対照表

単位：千円

科目	当連結会計年度	
	平成21年3月31日現在	前連結会計年度 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	38,953,475	35,341,265
現金及び預金	6,548,167	5,388,857
受取手形及び売掛金	17,289,755	15,312,090
たな卸資産	13,588,469	13,500,168
繰延税金資産	1,321,832	709,886
その他	231,075	452,642
貸倒引当金	△ 25,824	△22,380
固定資産	33,366,030	30,954,049
有形固定資産	31,821,963	28,855,068
建物及び構築物	18,584,189	15,882,507
機械装置及び運搬具	6,943,766	5,480,113
土地	5,139,952	4,861,590
リース資産	26,028	—
建設仮勘定	31,438	1,564,206
その他	1,096,586	1,066,650
無形固定資産	598,321	762,619
投資その他の資産	945,744	1,336,361
投資有価証券	544,621	820,925
長期貸付金	98,820	216,338
繰延税金資産	31,624	—
その他	299,533	352,203
貸倒引当金	△ 28,854	△53,104
資産合計	72,319,505	66,295,315

単位：千円

科目	当連結会計年度	
	平成21年3月31日現在	前連結会計年度 平成20年3月31日現在
負債の部		
流動負債	20,910,735	17,151,515
支払手形及び買掛金	6,527,926	6,903,729
短期借入金	5,080,056	4,143,616
リース債務	10,535	—
未払金	6,075,875	3,798,777
未払法人税等	1,587,494	821,156
引当金	1,392,329	1,276,414
その他	236,516	207,822
固定負債	9,703,140	8,938,556
長期借入金	8,471,142	7,490,288
リース債務	20,468	—
引当金	322,724	556,577
繰延税金負債	138,804	207,017
負ののれん	38,988	41,948
その他	711,012	642,725
負債合計	30,613,876	26,090,072
純資産の部		
株主資本	39,968,714	38,394,644
資本金	11,501,654	11,501,654
資本剰余金	11,825,350	11,825,350
利益剰余金	16,644,170	15,068,919
自己株式	△ 2,461	△1,280
評価・換算差額等	86,641	234,216
その他有価証券評価差額金	86,641	234,216
新株予約権	82,543	—
少数株主持分	1,567,730	1,576,381
純資産合計	41,705,629	40,205,242
負債及び純資産合計	72,319,505	66,295,315

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

単位：千円

科目	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
平成20年3月31日残高	11,501,654	11,825,350	15,068,919	△1,280	38,394,644	234,216	234,216	—	1,576,381	40,205,242
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△863,591		△863,591					△863,591
当期純利益			2,438,841		2,438,841					2,438,841
自己株式の取得				△1,181	△1,181					△1,181
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△147,575	△147,575	82,543	△8,650	△73,683
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,575,250	△1,181	1,574,069	△147,575	△147,575	82,543	△8,650	1,500,386
平成21年3月31日残高	11,501,654	11,825,350	16,644,170	△2,461	39,968,714	86,641	86,641	82,543	1,567,730	41,705,629

会社の概要

社名	沢井製薬株式会社
創業	昭和4年4月1日
設立	昭和23年7月1日
資本金	115億165万円
従業員数	834名(連結)
事業内容	医薬品の製造販売及び輸出入
販売品目	循環器用剤、抗生物質、抗がん剤など 医療用医薬品約510品目及び一般用医薬品
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行
ご採用先	国立病院など全国約7,100病院(カバー率約79.8%)、 約33,400医院・診療所(約32.0%)、 及び約45,200保険薬局(約73.3%)
販売代理店	西部沢井薬品ほか国内140社、海外1社及び広域卸
提携会社	明治製菓(株)、旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、 扶桑薬品工業(株)、バイエル薬品(株)、日本化薬(株)、 田辺三菱製薬(株)、アスピオファーマ(株)ほか

役員

代表取締役会長	澤井 弘行	取締役	高橋 嘉輝
代表取締役社長	澤井 光郎	取締役	小玉 稔
常務取締役	岩佐 孝	取締役	尾鼻 康弘
常務取締役	戸谷 治雅	常勤監査役	小西 俊明
常務取締役	木村 圭一	監査役	澤井 武清
常務取締役	横浜 重晴	監査役	上田 耕治
取締役	稲荷 恭三	監査役	菅尾 英文
取締役	徳山 慎一	監査役	高橋 孝志

本社・事業所・グループ会社

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30
支店	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	東京東、東京西、横浜、北関東、上信越、静岡、京都、神戸、 北陸、高松、岡山、熊本
工場	九州工場、三田工場、大阪工場、関東工場、 メディサ新薬九州工場、化研生薬八郷工場
関連会社	メディサ新薬株式会社、化研生薬株式会社

株主メモ

決算期	3月31日	事務取扱場所 〔郵便物受付〕 〔電話照会〕	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部 ☎0120-78-2031 株式関係のお手続用紙のご請求は、次の中央三井信託銀行の 電話及びインターネットでも24時間承っています。 ☎0120-87-2031 http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
定時株主総会	6月		同取次所
1単元の株式の数	100株	名義書換手数料	無料
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当を行うときは9月30日	公告方法	電子公告としております。ただし、事故やその他止む を得ない事由によって電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス (http://www.sawai.co.jp/ir/index.html)
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。		
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社		

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株式状況

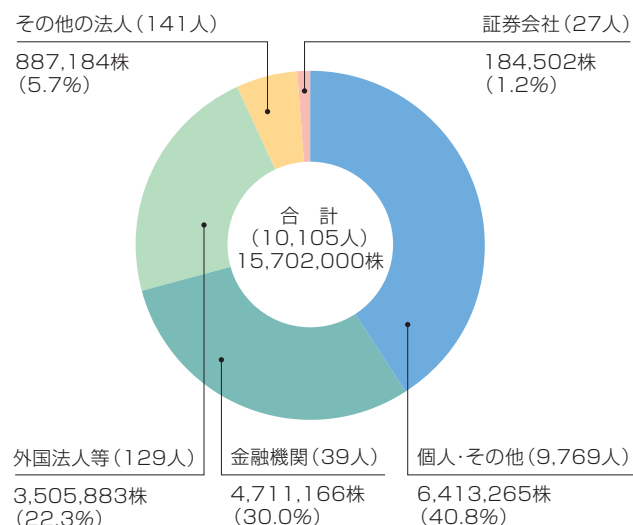
発行可能株式総数	38,800,000株
発行済株式の総数(自己株式549株を含む)	15,702,000株
1単元の株式の数	100株
株主数	10,105名

大株主

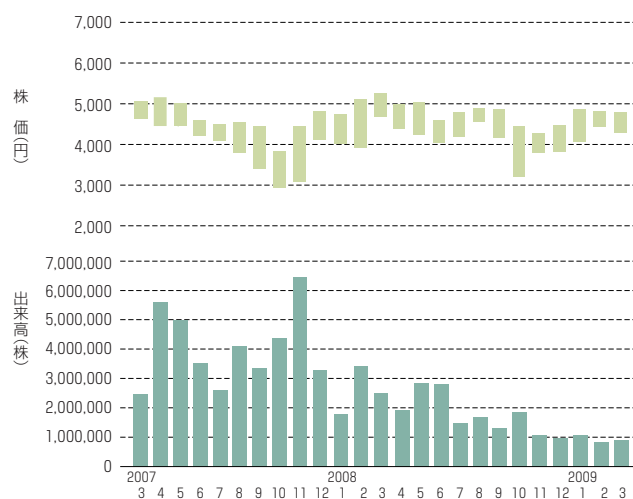
株主名	持株数
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,365,200株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,093,600株
澤井光郎	771,100株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	674,400株
澤井弘行	615,000株
澤井健造	484,000株
ザバンク オブ ニューヨーク	337,400株
インベスターズバンク	324,500株
澤井治郎	307,900株
株式会社 三井住友銀行	300,000株

(注) 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) 1,365,200株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 1,093,600株
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 674,400株

株式分布状況



株価(高値・安値)および出来高の推移



健康かけいぼ

いつまでも健康でいることと家計を健全に保つことは、どちらも充実した人生を送る要です。「健康かけいぼ」は沢井製薬がお届けする、健康もお金も大切にしたい方のための健康と家計の応援サイト。「健康は最大の節約」をコンセプトに、豊富な情報を掲載しています。

読み応え十分!

検証レポート 世界の医療

「検証レポート」は、経済ジャーナリストの佐藤治彦氏が執筆する、親しみやすい経済と家計のお話。「世界の医療」は各国の医療事情のレポート。

どちらも楽しみながら、医療や家計のさまざまな情報に触れることができます。

健康 かけいぼ大賞 発表!

読者のジェネリック体験を募集した「健康かけいぼ大賞」。ジェネリック医薬品との賢いつきあい方を分かりやすくまとめた大賞作をはじめ、患者さんの視点から綴られた親しみやすい体験談がいっぱい! ぜひ、ご一読ください。



ジェネリック 医薬品との 賢いつきあい方 がわかる

どうすればジェネリック医薬品を上手に使いこなせるか……お医者さんへの頼み方、服用しているお薬のジェネリック医薬品の検索方法など、役立つ情報を定期的に更新しています。

URL
<http://www.sawai.co.jp/kenko-kakeibo/>

沢井製薬ウェブサイト
トップページからもリンク